

第3種郵便物認可

音楽で「戦争いらない」

ピース・ミュージック・フェスタ!09 宜野湾

県内外14組が共演

お登記さん「怒れ沖縄の人々」

「わったー地球はわったーが守る」をテーマにした音楽祭「ピース・ミュージック・フェスタ!09 フロム 宜野湾」が21日、宜野湾市の海浜公園園外劇場で行われた。今年で4回目。石垣市白保出身の歌手・新良幸人Withサンデーやサルサバンドのカチンパーソー、シンガー・ソングライターのお登記さんら14組のミュージシャンが「戦争はいらない」のメッセージを音楽に乗せて発信した。



お登記さんら14組のミュージシャンらと共演したお登記さん。21日、宜野湾海浜公園園外劇場。

平和や環境問題に積極的にかかわってきたお登記さんら14組は、宜野湾を拠点に活動するバンド・太陽風オーケストラや歌手の上間綾乃さんと共演。具身バンド・モンゴル800の「あなたに」や「100万本のバラ」などを熱唱した。お登記さんは「わたしが初めて沖縄に来た1973年は、(復帰後も基地問題などが解決しなかったことに)沖縄の人々が怒っていた。今の若者に怒りはあるか」と観客に語り掛けた。「辺野古、泡盛を絶対に守ろう」と会場と一体になり叫んだ。

アイヌの伝統音楽や、それを現代風にアレンジした曲を確太アイヌの弦楽器・トンコリを自在に操り奏でるオキ・タブ・アイヌ・バンドも出演。アイヌの苦難の歴史を、具士の多くが基地に使われている沖縄と重ねて悲哀を込めて披露した。

同音楽祭は沖縄の基地問題を何とかしたいと県内外で活躍するミュージシャン

らが集まり、又玉基地建設に押れる名護市辺野古の浜で2006年から始まった。昨年は沖縄の現状を全国に伝えたいと、初めて東京で開かれた。今回は普天間基地を抱える宜野湾市で行われた。